

# 議会だより

元気はつらつ



未来はピース(平和)に

2017年1月8日成人式(華夕美)

12月定例会	2~4
健康プロジェクト対抗戦	5
ズバリ町政を問う(10議員が一般質問)	6~16
常任委員会、特別委員会活動	17~19
(原発サミット報告)	18

No.  
**147**

平成29年1月19日

# いよいよ完成間近！ 大原住宅(駅北災害公営住宅)145戸



ねえ、ねえ、どござ入るの

## 12月 定例会

会期  
12月13日、  
12月15日

### 一般議案・条例

主な内容は次のとおりです。

#### 財産の取得の一部変更

#### 大原住宅建設事業契約の変更

・変更前金額

54億9677万8千円

←

・変更後金額

51億308万7千円

#### 配置図から見た

#### 疑問点

**問** 住宅周囲がフェンスで囲われていますが、車の出入り口以外に駅前商店街で買い物

をした人が、ぐるっと回らなくても入れる方法はないのですか。

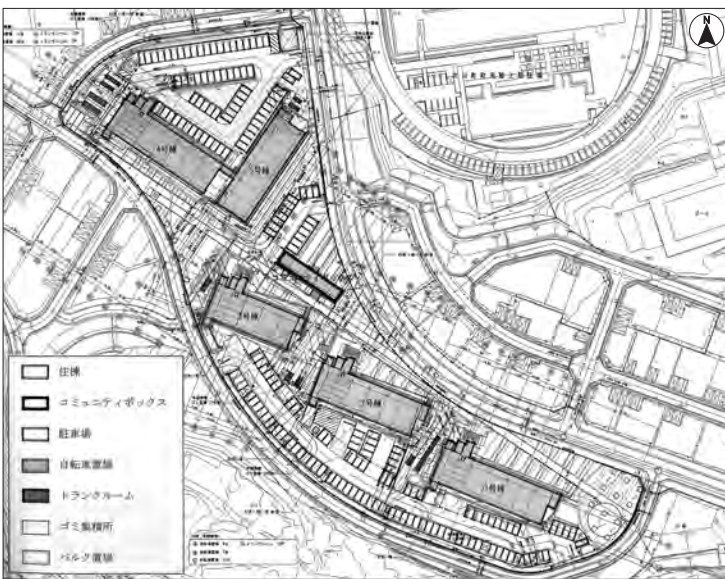
**答** 周囲はガードレールで囲う部分と人が通ることが出来る車止めのポールを使用する部分に分けてあるため、遠回りすることはありません。

**問** 設計図を見ると、2号棟や3号棟のトランクルームが見当たらないのですが。

**答** トランクルームは基本的に住棟内にできるだけ設置をしたと考えています。やむをえずはみ出る部分については、外部にトランクルームを設けています。

**問** スペースはどの部分ですか。

**答** 駐車場はコミュニケーションボックスの裏側に5〜6台程度確保しています。



女川駅北地区災害公営住宅配置図

**集会所ではない  
コミュニティボックス**

**問** コミュニティボックスはガラス窓などで仕切つて、あずまや風ではなく、部屋として使えるのですか。

**答** コミュニティボックスは5つの部屋を仕切る予定にしています。そのうちの2つにアルミサッシのドアを付けます。その2つは雨天の場合でも、ちよつとした懇談などできる場となっています。他の3つはコンクリートの箱というイメージをしてもらえればと思います。

**問** コミュニティボックスは、一番人が集まる場所なので、風にさらされる所にわざわざ造る必要があるのですか。全面アルミサッシの防風の建物でも良かったのでは。

**答** 当初、生活支援課でも集会施設的なものも考えていましたが、周囲に運動場西や換地の部分等が混在する場であるため、一つの行政



雪の日でも待ち合わせ場所に使えます

区としてくるのではなく、むしろ自由なコミュニティや、お祭りなど気楽に使ってもらえる場としてつくりました。ちょっとした話し合いをした場合には、冬場のこともあるので2つの部屋にドアと窓を付けた形をとりました。

**財産の取得**

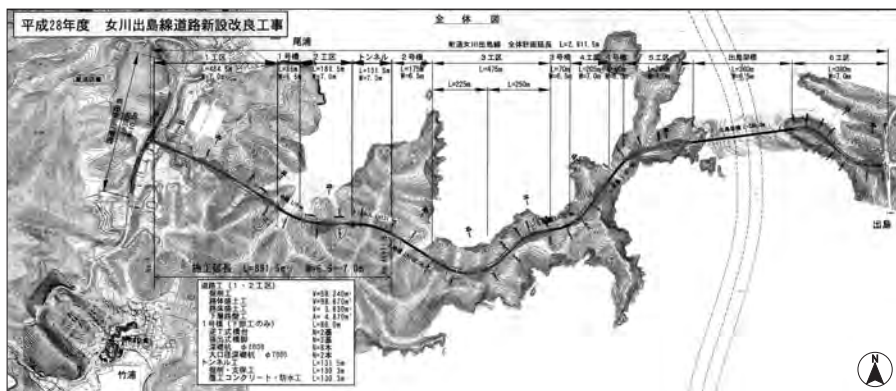
・西区地区災害公営住宅  
30戸30棟  
取得予定金額  
6億8050万8千円

・飯子浜地区災害公営住宅 1戸1棟  
取得予定金額  
2337万1200円  
・尾浦地区災害公営住宅 24戸24棟  
取得予定金額  
5億5825万2千円  
・小屋取地区集会所1棟  
2635万2千円  
・竹浦地区集会所1棟  
(消防車格納庫合築)

3877万2千円  
・飯子浜地区集会所1棟  
(消防車格納庫合築)  
3818万4千円  
※買取り取得先は全て一般社団法人女川町復興公営住宅建設推進協議会

**契約締結**

・女川出島線道路新設改良工事



女川出島線道路新設改良工事予定図

契約金額  
14億184万円  
契約の相手方  
ピーエス三菱・佐藤工業  
女川出島線道路新設改良工事共同企業体

**答** 事業全体の橋が架かって、全線開通するまでの事業予定期間が平成34年度、平成35年の3月末を目指しています。

**条例の一部改正**

・女川町税条例の一部改正ほか3件

**問** 出島架橋の第一工区は平成31年までの事業ですが、全体の完成はいつですか。

**願** い続ければ叶う!

**表彰**

○宮城県知事表彰

酒井孝正議員が平成28年11月8日に東京エレクトロンホール宮城において開催された、文化の日表彰で県知事から自治功労者として表彰されました。永年在職(15年以上)町議会議員として地方自治の発展と、住民福祉向上に尽力した功績が認められたものです。おめでとうございます。



酒井孝正議員

**人事案件**

○教育委員会委員の任命

12月定例会で、阿部喜英さん(浦宿二区)の任命に同意しました。任期は平成29年1月1日から平成32年12月31日までの4カ年です。



阿部喜英さん

# 一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ32億4322万6千円を追加し、総額を460億8931万1千円としました。

## ◆歳入の主なもの

- ・国庫支出金 17億2951万2千円
- ・基金繰入金 12億1311万2千円
- ・地方交付税 2億9558万3千円

## ◆歳出の主なもの

- ・総務費 離島航路事業円滑化対策資金貸付金 529万2千円
- ・農林水産費 漁港維持補修工事費 900万円
- ・荷捌場・管理棟建設工事 1億8500万円
- ・商工費 きぼうのかね商店街移設工事 2700万円
- ・復幸祭イベント委託料 復幸祭開催経費 400万円

## 復興祭

### 今年も開催

**問** 復興イベント委託料400万の委託先は。

**答** 毎年3月に開催され今年で6回目の事業です。商工会青年部など若者が中心で実行委員会を組織し、今回も3月に実施したい旨の要望がありました。

## 問

60万円増額補正の防犯灯設置場所は。

## 答

小屋取地区5灯と、指ヶ浜地区の道路沿いに6灯です。



## 発議案

◆最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書

◆地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望。

◆有害鳥獣（イノシシ、ニホンジカ）駆除対策に対する支援事業の改正及び広域連携の制度化を求める意見書

◆「高額療養費」、「後期高齢者の窓口負担」等、患者負担見直しの慎重審議と現行制度の継続を求める意見書

## ※ワーキング・プア

非正規雇用、年収200万円以下の働き手

患者負担増は、治療が必要な患者が治療を避けるなど、複数の疾病を抱え、治療が長期にわたる高齢者の生活基盤を圧迫する。政府及び国会に対し、さらなる患者負担の増額で受診抑制を招かな

いよう、慎重審議と現行制度の継続を求める。

イノシシについては、狩猟免許取得制度促進と捕獲機材購入のための予算増額の拡充を求める。

ニホンジカについては、年々増加する個体数に対し、捕獲数を大幅に増加させる必要性がある。有害捕獲推進事業は、市町村単独事業が交付金対象外のため、交付要領の改正を求めるもの。

増大著しいイノシシ及びニホンジカの個体数を削減するため、隣接自治体間及び各猟友会等の有機的な広域連携を取ることで、必要な制度の創設と必要な予算処置を求める。



竹浦漁港護岸復旧工事現場



# 健康プロジェクト対抗戦

議会も  
参戦



期間12月19日～3月10日



チームみんなで目標を決めて、  
一緒に**楽しく健康づくり**に取り組む  
ための企画です



励まし合い  
活力ある組織が実現

女川町 商工会&青年部	女川町議会	女川町役場
女川町 観光協会	プロジェクト 事務局	女川町地域 医療センター
復幸まちづくり 女川合同会社	コバルトーレ 女川	女川町 教育委員会

日々の取り組みで  
健康実感と数値の改善

## チーム目標、個人目標 (抜粋) (敬称省略)

チームみんなで500万歩 歩く	
木村 公雄	野菜から食べる
鈴木 公義	ビールを一日1ℓ以下にする
高野 博	毎日納豆を食べる
木村 征郎	朝、ラジオ体操をする
佐藤 良一	野菜から食べる
酒井 孝正	毎日ヨーグルトを食べる
阿部 律子	野菜から食べる
平塚 勝志	毎日ヨーグルトを食べる
阿部 薫	低カロリー、高タンパク質摂取
阿部 美紀子	眠る前にストレッチ
宮元 潔	毎日体重を測る
伊藤 恵悟	3食しっかり食べる

9月、「健康なまち宣言」を決議しました。  
12月19日から3月10日まで、9チームで行われる  
「健康プロジェクト対抗戦」に、議員12人もチーム  
となって参戦。  
チーム目標は、期間中みんなで500万歩歩く。  
その他、一人ひとりが3つの生活習慣目標を掲げ、  
目標達成を目指します。

目標が達成されたかどうか、結果は次号で報告し  
ます。



# 一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。



# 町政を問う



## 10 議員が質問

佐藤 良一議員…………… P 7

- (1) さけますふ化場の再建は
- (2) 引越し料立替えのわかりやすい説明を

阿部美紀子議員…………… P 13

- (1) 津波の恐れのある原子力災害避難は
- (2) ゴミ減量、資源化に関心を高めよう

阿部 薫議員…………… P 8

- (1) 町の「木、花、魚、鳥」の見直しは
- (2) 女川魚市場中央管理棟運用に関して

酒井 孝正議員…………… P 14

- (1) 地域福祉センター医療センターについて
- (2) 女川消防署の整備年度の公表時期は
- (3) みなと橋復旧事業着手・完成の時期は

高野 博議員…………… P 9

- (1) 女川原発は「被災原発」として
- (2) 「企業の森」の導入を
- (3) 女川駅にコインロッカーを

宮元 潔議員…………… P 15

- (1) 高齢者の交通事故防止対策は
- (2) 子育て支援の充実を
- (3) 後継者対策と人口増加の取り組みを

平塚 勝志議員…………… P 10

- (1) 役場等整備に係る駐車場計画は
- (2) 「高村光太郎文学碑」は

伊藤 恵悟議員…………… P 16

- (1) 継続した戦略的なまちづくりを
- (2) 住む人の視点でのまちづくりを

阿部 律子議員…………… P 11

- (1) 被災者の医療費減免継続を
- (2) 何よりも風評被害が心配
- (3) 女川温泉「ゆぼっぼ」にカラオケ設置を

木村 征郎議員…………… P 12

- (1) 災害公営住宅の入居条件を緩和せよ
- (2) 安全な町と子育てしやすい町を目指せ
- (3) パークゴルフ場の開設時期、規模は

## あなたも議会を 傍聴してみませんか

■次回の定例会は3月1日からの予定です。

■詳しくは町議会事務局(電話54-3131内線271)へ

お気軽にお問い合わせください。



# Q さげますふ化場の再建は

## A 県漁業女川町支所と協議を進めていく



さげますふ化場の再建は？

**Q** 震災から早や5年9カ月、いまだに被災した御前浜のふ化場建設の見通しがたつていません。昨年は震災前に放流した稚魚が回帰する最後の年でもありませんが、平成28年の回帰率は5・7割でした。そこで、過去4年間のサケの回帰率の推移と市場への影響度は震災前と比較して、いかがですか。

**A** ふ化場の建設予定はあります。ふ化場活用は、サケに関する研究等、多方面にわたり重要な施設と思われま。追波川水系さげます増殖協会の資料によると、活用可能額配分総額で1400万円強の金額があるそうですが、その金額をふ化場建設に活用することはできないのですか、当局の見解を伺います。

**A** 町長 産業振興課長  
震災後の秋サケの回帰率は、平成24年度は2・0割、25年度は4・4割、26年度は11・2割、27年度は5・3割で、4年間の平均は5・7割、全県の平均3・5割を2・2割上回っています。魚市場への水揚げは、震災翌年は激減しましたが、25年度以降は、震災前並みの金額へと回復しました。しかし、28年度はラニーニヤの発生による気象の影響等で、全国的に厳しい状況となっています。追波川水系さげます増殖協会からの配分は、基金として施設整備等に活用できます。ふ化場の再建は、復興状況を勘案しながら、指定管理を担っていた県漁協女川町支所と協議を重ねていきます。

**Q** 29年から本格的に災害公営住宅に引越しをする被災者が多くなります。行政においては、引越代金の概算払い制度を採用していますが、高齢者が多く住む地区では、理解ができない、手続きが面倒くさいと話をしていく住民の声が聞かれます。行政としても、全住民に理解してもらうのは大変だと思いますが、親切丁寧な説明が必要ですか。災害公営住宅入居者にとっては便利な制度なので、活用しやすく分かりやすい広報をしてもらいたい。

### 引越し料立替えのわかりやすい説明を

**Q** 29年から本格的に災害公営住宅に引越しをする被災者が多くなります。

### 制度概要の周知徹底を図ります

**A** 生活支援課長  
町では10月から、災害公営住宅入居者を対象に移転費の概算払いを実施しています。

現在、入居者説明会等で制度概要や手続きの説明をしています。一度の説明では理解が得られない場合もあると思います。今後も入居手続きの際に制度概要等について説明するとともに、チラシを作成するなど周知方法にも工夫を凝らし理解の促進に努めます。



わかりやすい引越し手当ての説明を！

# Q 町の「木、花、魚、鳥」の見直しは



阿部

薫  
議員

## A 当面の間は継続していきたい



市場内見学通路と選別機材！

Q

町全体の復興事業が、日々進捗すると同時に景観や町並みだけでなく、私共町民における生活スタイルも微妙に変化しつつあり、昭和56年に制定され、長年町民に親しまれている町の木、花、魚、鳥にも変化が、特に町の魚である「鯉」。そうかなと思うのは私だけでしょうか。

そこで次の点について伺います。

- ①町の魚を「鯉」にした当時の経緯は。
- ②木の「杉」、花の「桜」、魚の「鯉」など当時よりの減少傾向数字は。
- ③魚種別水揚げ統計を参考とした場合、「鯉」の継続使用をするのか、来たる節目に制定見直しはありますか。

A

町長  
産業振興課長

①町の「木、花、魚、鳥」は、昭和56年11月に開催された町制施行55周年記念式典で発表、制定されました。理由は町が古くから鯉とともに歩んだ歴史的背景からとされています。

②町の木、杉は戦後、国の事業で約1840畝、368万本が植林されました。現在は伐採が進み、約1730畝、346万本に減少しています。

桜は、震災前は約1100本を数えましたが、現在は1000本程度となっています。

鯉はピーク時から大幅に減少し、現在は水揚げ数量で約5000トとなっています。

③これらは、本町の礎を築かれた先人たちの思いや願いが凝縮されたものであり、当面は継続したいと考えています。



市場食堂は、いつからかな～

### 女川魚市場中央管理棟運用に関して

Q

基幹産業の水産業に関して、最終的には昨年比同等の水揚げ数量、金額が見込まれる状況ですが、本体機能である中央管理棟内の活用および運用方法に疑問を持ちます。

そこで次の点について見解を伺います。

- ①高度衛生市場を唱えています。管理棟内の清掃業務委託は万全ですか。
- ②1階から4階までの、各フロアーなどの利活用状況は。
- ③魚市場関連業者、および見学来場者が期待している、市場食堂の運用業者と開業予定日は決定済みなのですか。

A

産業振興課長

### 今後高度衛生型の推進に取り組み

①高度衛生型の基本的な考え方は、消費者への安全・安心な水産物提供です。施設内の清掃は、コストカットを念頭に、入居している各事業者で日常清掃を実施しています。

②施設の利用状況は、会議、研修室が25件821人、視察が14件226人、中央荷捌場の見学者は、240人、合わせて39件1287人です。

③食堂は当初、12月の開業予定で(株)女川魚市場から申請がありましたが、準備に時間を要していることから一旦取下げ願いが提出されました。

今後、魚市場と運営事業者で協議し、確定次第、再度申請すると聞いています。



# Q 女川原発は「被災原発」として

## A 耐震性等含めた現状での審査と理解

Q

福島ではいまだ8万人以上がふるさとに戻れません。新潟県知事選やどの世論調査でも再稼働反対が多数派です。原発に未来はありません。

①スリーマイル島原発事故は弁の操作ミスからです。女川原発の海水漏れのトラブルも弁の確認ミス。トラブル繰返す異常な事態。

見解を伺います。

②県の「検討会」で原子炉工学の岩崎教授は「女川原発は他の原発と異なり被災原発であり、安全審査の基準も異なるべきで、国に申し入れるように」と発言をしています。町長は「女川原発は被災原発で他とは違う」との認識をお持ちですか。

A

町長  
企画課長

①今回の事象は、コミュニケーション連携のミスから発生し、重く受け止めるべきと理解しています。原子力プラントに携わる意味を、電力社員のみならず、関係者がしっかりと認識共有する必要があります。今後の再発防止対策の有効性についても県と連携しながら、立入調査等で確認していきます。

②地震による被害は当然受けており、規制委員会での審査は被災ということよりも、現状のなかで耐震性なり剛性がきちんと確保されているかが、審査対象であるか確認していきたいと考えます。

③算定における一番の立脚点によってコストが変わってくると思われ、電源構成などをどう考えていくかが、今後の建設的なプロセスではないかと理解しています。

### 「企業の森」の導入を

Q

本町の85%を占める森林を活用し、持続可能な地域経済、地域循環型の産業の育成を。①岩手県葛巻町では「企業の森」を提唱し、森林の活用を図っています。本町でも導入を検討すべきではありませんか。

②養殖漁業の源は森林の恵みであり、手を加えた森林こそ後世に残す大切な遺産だと思えますが。

引き続き「企業の森づくり」に取り組み産業振興課長  
①企業の森づくりは、みやぎの里山林協働再生支援事業を活用し、仙台ターミナルビル(株)、薬天(株)と協定を締結。町有林11・2畝で植樹などの保育事業を実施しています。

A

②所有者の世代交代が進み、森林への関心が薄れています。引き続き森林整備の重要性を周知し資源保全に努めていきます。

③今後もさまざまな事業を活用しながら、企業による森林整備を推進します。



何度も巨大地震に揺すられた女川原発

### 女川駅にコインロッカーを

Q

JR女川駅にコインロッカーを設置し、乗客の利便性を向上させるべきではありませんか。石巻駅にもあります。

A

町民・産振課長  
コインロッカーの設置場所は課題がありますので、来町者に対し、ゆほっぼ事務所や駅前施設のフューチャーセンターで荷物預かりサービスを実施する等、近隣の施設開放で様子を見ます。

### 近隣の施設開放で対応します



石巻駅のコインロッカー



# Q 役場等整備に係る駐車場計画は

## A 効率的に活用できる整備計画とします



平成30年9月完成へ 役場等4施設

Q 役場等（役場・保健センター・子育て支援センター・生涯学習センター）の整備が、平成30年9月の完成を目指し、進んでいます。

施設を有効に活用していくためには、駐車場の必要かつ十分な確保が重要な要素です。

そこで、次の点について伺います。

①震災前の4施設の駐車可能台数と、4施設の職員数は。

②新たな施設の駐車可能台数と職員数および車出勤職員数は。  
③催時等で、駐車場の確保が困難な場合の方策は。

A 総務・管財宮繕課長

①震災前の駐車可能台数は、役場周辺、生涯学習センター、保健センター協等で、合計216台でした。職員数は、4施設で110人です。  
②新庁舎の駐車可能台数は、

は、173台ですが、駅周辺の町有地に多目的に運用できる臨時駐車場を整備する計画です。職員数は、165人で、うち車での通勤者は150人と想定しています。  
③催事等で駐車場の確保が必要な場合は、新庁舎の駐車場と併せ、駅周辺の駐車場および臨時駐車場を効率的に活用し、対応していく考えです。

### 「高村光太郎文学碑」は

Q 平成28年12月23日にオープンを迎えた「ハマテラス」の完成で、駅前プロムナードは、ますます盛況な賑わいが期待される街通りへと変貌していきます。

しかし、その先のメモリアルゾーン等の海岸地域は、計画策定中です。被災した「高村光太郎文学碑」は、いまだにその海岸に横たわっていると思われれます。

そこで、次の点について伺います。

①「高村光太郎文学碑」



高村光太郎文学碑（震災前）

の現況は。

②海岸地域（公園）整備計画での「高村光太郎文学碑」の位置付けは。

### 光太郎の会と具体的な話し合いを進める

A 町長 生涯学習課長

①高村光太郎文学碑については、2基の詩碑のうち「よしきり鮫」1基が行方不明であり、文学碑と詩碑「霧の中の決意」1基が現存しています。現況は既存地付近の女川交番が横倒しになって

いる場所から少し海側の、復興事業に支障をきたさない場所に置かれています。  
②観光交流エリアの中に高村光太郎文学碑も含まれていますが、エリア全体の空間構成等については復興まちづくりデザイン会議で現在検討されています。  
今後、女川・光太郎の会から具体的な設置場所や設置した後の維持管理経費について意見を聞きながら、行政側としてやることを検討し協議を進めます。



# Q 被災者の医療費減免継続を

## A 現段階では、本来の形に戻すべき

**Q** 東日本大震災から5年9カ月が経過しましたが、近隣市町と比べても、災害公営住宅や自立再建での入居の遅れがきわだっています。

長引く仮設暮らしで精神的なストレスもあり、体調不良や持病が悪化する人も多く、1日も早く仮設暮らしから抜け出したいとの思いは当然のことです。

岩手県では29年12月まで1年間被災者医療費の免除を延ばすと発表しています。ぜひ県に働きかけるとともに、被災者に寄り添った福祉のところで、町独自でも引き続き減免制度の継続を実施すべきではないですか。

**A** 町長  
町民課長

被災者の医療費一部負担金免除については、財源、他保険との均衡性、その他の要素を鑑みたと、き、本来の形に戻すということが基本であると捉えます。

国・県に対しての財政支援の継続要望活動につ

いては、気仙沼市から本町までの沿岸5市町で情報交換会を定期的に開催し、情報共有と関係機関への働きかけを行っています。

今後は本町の国保における財政状況を踏まえながら、石巻広域圏の構成市町と情報交換等し、状況を見ながら最終的な判断をします。

### 何よりも風評被害が心配

**Q** 村井県知事が県内の放射能汚染廃棄物を一斉焼却すること

を提案。広域クリーンセンターで通常ごみと混焼処理をし焼却灰は各自治体の最終処分場に埋立処理することです。

最終処分場（針浜）に埋立てされると、何よりも風評被害が心配です。万石浦で力キ養殖を生業とする漁業者には死活問題で、安易に受け入れることはできません。

焼却で放射能が拡散するのではとの思いがあります。医学博士の岩見億

丈氏は環境省が主張する「安全」に根拠がないことを廃棄物資源循環学会で問題提起しています。専門家の意見にも十分に耳を傾けるべきです。

### 風評被害には安全対策を

**A** 町長  
町民課長

本町においては、焼却施設や汚染廃棄物を所有していませんが、今後、本町最終処分場へ焼却灰を埋立することが想定されます。

今回県の提案である混焼による焼却灰受入案とは別に、石巻広域事務組



針浜最終処分場～本当に大丈夫？

合と2市1町で通常の焼却灰を受け入れる協定を交わしており、焼却灰を1カ月間受け入れする予定です。

今後の会議等で、汚染廃棄物の焼却灰を受け入れることが生じた場合はモニタリング等の安全性等について、国・県と本町で本町最終処分場の近隣地区住民や漁協女川町支所万石浦支部関係者等に丁寧な説明会を実施し、風評被害を防ぎます。

〈町長からの反問〉  
8000ベクレル以下の低レベルのものがかなりの量を占めるので、まずは試験焼却からとなっていますが、それ以外にどうすれば状況が前に進むとお考えですか。

（答）  
県でも認めている焼却以外の方法も選択肢の一つ（すき込み、林地還元等）またコンクリート、コンテナ等に半減期の30年、60年と長期管理で自然に放射能の数値を下げていくしかないのでは。



月1回カラオケが歌えることに…

### 女川温泉「ゆぽぽ」にカラオケ設置を

**Q** 町民有志が、女川温泉ゆぽぽにカラオケ設置をと543筆の署名と手紙を添えて町へ提出。一途な思いを実現してほしい。

### カラオケは自主事業の充実で対応する

**A** 町民課長

カラオケの設置や自主事業の充実を図りながらイベント等に創意と工夫を加え、今後のゆぽぽ利用者の利用率の向上を目指します。



# Q 災害公営住宅の 入居条件を緩和せよ

## A 県に対し入居要件の緩和を要望します



建設が進む(清水地区) 災害公営住宅

Q

本町は自立再建  
宅地の募集条件を  
緩和しましたが、現実的  
対応と評価します。被災  
者が一日も早く終の住家  
を求めることを願いな  
がら次の点を伺います。  
①自立再建宅地の空き数  
を地区別に示して下さい。  
②被災者以外で町外在住  
の人も応募できますか。  
③半島の戸建の災害公営  
住宅での空きが気になり  
ます。地域の特異性を勘  
案し、入居条件を緩和す  
べきと考えますが。

A

生活支援・  
復興推進課長

①平成28年11月末現在で  
荒立西3、荒立東4、内  
山2、運動場西4、女川  
4、旭が丘6、清水日蔵  
2、宮ヶ崎8、堀切山4  
宅地、離半島部9宅地の  
計46宅地です。  
②本年10月から被災の有  
無に関わらず町内居住者  
を対象とし、来年4月以  
降は町外居住者にも拡大  
する予定です。  
③離半島部の災害公営住  
宅は、地域性も考慮し早  
期に一般募集が可能とな  
るよう、県に対し入居要  
件の緩和を要望します。

### 安全な町と子育てし やすい町を目指せ

Q

視察した徳島県  
神山町では人口の

過疎を受け入れながら、  
若者の定住化を進める  
「創造的過疎」を掲げて  
います。本町は新しい町  
造りを進めています。が、  
安全な町と子育てしやす  
い町を目指すべきと考え  
ます。

①町長はどんな町を目指  
しますか。最大の売りは  
②役場庁舎内でUターン  
等に対応する部署が不明  
確です。南三陸町では企  
画課の中に人口定住係を  
置いています。

③公民連携の核であるア  
スノキボウの活動が住  
民に理解されていないの  
では。

### 良質な住環境と利便 性の高い町の構造に

A

町長  
企画・産振課長

①良質な住環境や機能の  
集約、それを共有できる  
利便性の高い町の構造に  
しており、人の流れの集

約により持続性を図り、  
また土地の安価さ等、ワ  
ンパッケージでの提供が  
一番の価値になります。  
②相談窓口となる担当の  
明確化を含め、移住、定  
住を希望される方に、分  
かる表記でしっかり対応  
していきます。  
③町の将来形を見据えて、  
町外から積極的に人を呼  
び込む事業を展開してい  
ます。今後も、住環境を  
勘案しながら、効果的で  
分かりやすい方策を検討  
していきます。

### 運営主体や採算性を 見極め可能性を探る

A

町長  
生涯学習課長

①総合体育館、第2多目  
的運動場、屋外施設併せ  
て年間約9万人利用して  
います。  
②石巻地区に1箇所整備  
との2市1町で共通認識  
がなされていますが、整  
備場所等についての具体  
的な話し合いは進んでい  
ない状況です。

### パークゴルフ場の 開設時期、規模は

Q

本町はかつて県  
下有数の運動公園  
を有し、スポーツ観光を  
推進してきました。復興  
が進む中で次の点を伺い  
ます。

①現存施設の利用状況は  
②陸上競技場は町内的に  
は必要度は低いと考えま  
すが石巻広域での視点も  
重要です。規模、有り方  
等を検討しましたか。  
③県内のパークゴルフ場  
は内陸部に偏重し、大半



パークゴルフ場が  
できるといいネ

③パークゴルフ場の整備  
については、期限をいつ  
までというより、運営主  
体や採算性を見極め、実  
現の可能性を探りながら  
整備すべきとの共通認識  
で現在進めています。



# Q 津波の恐れのある原子力災害避難は

## A 主要道路はレベル1津波より高く計画



安全に暮らしたい(飯子浜)

Q

11月22日明け方、福島沖を震源とする地震、津波。これによって、翌23日に予定の原子力防災訓練は中止になりました。防災訓練当日、あるいは最中だったらどうなっていたらどうかと思わずにはいられません。そこで、原子力災害避難と地震津波災害について伺います。

江島や出島のような原子力避難施設もありません。原子力災害で、津波の恐れのある場合、どのような避難方法を考えていますか。

②石巻の防災担当者から原発の放射性廃棄物がある限り、避難計画は必要と聞きました。大石原から野々浜、飯子浜の高台を通る道路計画、また指ヶ浜の道路計画はどのような計画ですか。

A

企画・建設課長

①原子力災害を伴う複合災害時には、自家用車による避難を優先し、困難な住民はバス等での避難を考えています。

津波襲来の可能性がある場合には、交通網が遮断されることも視野に入れ、まずは住民の命に係わる危険が差し迫っている状況から身を守るため、高台の集会所等へ避難します。さらに、放射性物質の放出を考慮した場合、津波災害からの避難と併せて屋内退避することが肝要と考えています。

また、道路が寸断し孤立した時は空路での避難を行うこととなります。

②県道女川牡鹿線の大石原から飯子浜までの区間は、宮城県において復興道路として高台ルートを新設し、国道398号指ヶ浜地区は、町の海岸保全事業により高上げる計画で、どちらの工事も発注済です。

### ゴミ減量、資源化に 関心を高めよう

Q 9月に視察に行った上勝町は、ゴミの資源化率、日本第2位だそうです。

女川のクリーンセンターで、分別作業を見、説明を聞いた折、ラベルやフタの付いたままのペットボトルが多く見られました。監査委員からも、資源物選別委託料1265万余円等、町民や企業の努力で町の負担が軽減すると指摘されています。

ゴミに対する関心を高めるために

①行政区などへの出前講座、催してコーナーを設ける取り組みを図っては。

②小・中学生に、ゴミの分別見学、体験を。



ボトルのフタを  
はずしましょう

### 出前講座等で 体験学習を

A 町民課長

①これまでに実施してきたごみ処理に関する出前講座は、行政区や各団体等の要望により生涯学習課と連携し取り組んで行ってきましたが、震災から復興が進んだことを背景に各行政区の区長や衛生組合長と連携を図り、町内のごみ収集箇所において、ごみの分別指導を実施する予定をしています。

また、町内での各種イベント時には、「ごみステーション」コーナーを設ける等の実践活動はすでに行っています。

②小学生等に対しては、施設見学やごみの分別体験学習ができるよう意を用いています。



# Q 地域福祉センター 医療センターについて

## A 施設の活用が決まり次第公表したい

**Q** 新庁舎の完成予定が平成30年9月と公表されました。震災後、地域福祉センターと医療センターは「心身ともに健康な生活を支え合う女川」を支えてきた重要施設です。

そこで伺います。

①地域福祉センター内の保健センター・子育て支援センター移転後の施設活用について検討されていると思いますが、施設活用公表時期は。



地域福祉センター、医療センター改修は

がれると思いますが、原子力避難施設整備についての考え方は。

**A** 町長

健康福祉・企画課長

①保健センターおよび子育て支援センターの移転については、移転先である役場新庁舎の完成が平成30年9月となっております。既に昨年6月に社会福祉協議会に対し今後の利用意向調査を実施しました。社会福祉協議会とは引き続き協議を行い、移転するまでに結論を出し、実

施する事業に併せて地域福祉センターの改修に繋がりたいと考えています。その結果改修が必要となれば補正予算等に計上することから、遅くとも平成30年9月議会までには、その方向性を議会に対し説明したいと考えています。

②地域医療センターは改修工事が困難であると判断し、隣接する地域福祉センターを改修して整備することを検討しています。

### 女川消防署の整備年度の公表時期は

**Q**

大震災により、石巻圏域内での消防署・出張所で被害を受けた施設は復興事業の年次計画により整備年度が確定しており、現在、整備中です。

女川消防署は仮設であり、整備年度は未定です。安全な暮らしを支えている重要な施設であり、整備が急がれます。女川消防署整備計画の公表はいつ頃になりますか。

### 整備場所や配備計画などを早期に提示

**A** 町長

企画課長

震災を教訓とした消防庁舎の早期復旧のため、消防本部では防災拠点としての立地条件等、新たな指針を策定しました。

本町では、この指針を踏まえ、緊急時の出勤に効果的な配置などから判断し、小中一貫校移転後の女川小学校グラウンドを建設候補地として調整中であり、配備計画、スケジュールを早期に提示したいと考えています。



消防仮設庁舎の移転場所、完成年度は

### みなと橋復旧事業着手・完成の時期は

**Q**

三種漁港である女川漁港の復興完成に向けて、国・県と関係者との連携で事業着手しており、女川漁港の復興完成は最終盤になってきたと思います。

現在、みなと橋は県管轄であり、観光エリア整備進捗状況と関連がありますが、みなと橋復旧事業着手・完成はいつ頃を予定していますか。

### みなと橋は平成30年10月完了予定

**A**

復興推進課長

みなと橋は、宮城県が災害復旧事業にて整備しています。平成28年7月から着手し、現在は旧橋撤去作業を行い、平成30年10月の完了を目指していると考えています。橋の周辺は、町が行っている各事業と\*よくそ

\*1カ所に同時に集中して混みあうこと



# Q 高齢者の交通事故防止対策は

## A 高齢者の安全安心確保を促進します



高齢者の交通事故急増中

Q

本町では65歳に達した高齢者が町の人口の約40%をしめる勢いです。日本人の平均寿命は平成27年で過去最高となっており、今後も伸び続けると予想されます。

高齢化社会に向けて、制度や仕組みを見直していかねばと思います。そこで伺います。  
①本町における高齢者が運転免許を返納している年齢別割合はどれくらいですか。  
②高齢者の運転免許の自主返納した場合に、毎年女川町民バス利用券を交付するなどの制度ができませんか。

A

町民課長

①本町では、年齢別割合は調査していませんが、昨今の高齢者交通事故多発を見たとき、何か施策を展開すべきと種々協議をしていました。本町並びに交通安全都市推進協議会等との連携で、これまでも実践活動や啓蒙啓発活動を実施しています。  
②現段階では、平成29年度から運転免許返納者に対し、申請により町民バス回数券を配布する事業を企画立案中です。自動車運転の生活から、町民バスを中心に公共交通機関の利用拡大を促し、高齢者の安全安心確保に努めていきます。

### 子育て支援の充実を

Q

出産をお祝いし、定住の促進を図るためにも、子どもの出生率の向上、安心して子育てのできる町を目指すための支援策を考えるべきです。

女川町では子どもが生まれた時に支給される、出産育児一時金のほかに支給される制度はあるか伺います。

### 充実した子育て支援を展開している

A

健康福祉課長

現金で支給する事業はありませんが、生まれた赤ちゃんの全ての家庭を訪問し、相談支援や家事援助など、保護者の養育能力を向上させる支援を行っています。

### 後継者対策と人口増加の取り組みを

Q

いまや町の人口が約6700人となり、町の政策では交流人口を増やすことに力を入れていくように思われます。本来、町の人口を増やすこと、減らさないことを一番の重要課題にしなければならぬと私は思います。

そこで伺います。  
①現在、奨学金を借りている人数は。  
②子どもが町の奨学金を借りて、大学、専門学校へ行き、将来女川に戻ってきた子どもたちに対して、奨学金償還免除等の制度はありますか。

### 奨学金償還免除は検討を進めます

A

町長  
教育総務課長

①本町では経済的な事由により就学困難な人に奨学金を貸与しており、その人数は現在211名となっています。

②奨学金償還は最長10年間でその償還金が次の人の奨学金に充てられており、奨学金制度を継続する上で確実な償還が重要となっています。償還免除が「持続可能な地域経営」の有効な手段になるかについてはさらに検討を進めます。国で議論している給付型奨学金はその動向を見据え、町として何が実施可能か関係機関で考えていきます。



子育て支援の充実を！



# Q 継続した戦略的なまちづくりを

## A 常に意識した終わりのないまちづくり

**Q** 復興も着実に進む中で復興後のことも視野に入れたまちづくりをしていると思います。2020年には東京オリンピックもあり、年々海外からの訪日者数も増え続け、平成28年では既に2千万人を超えると聞いています。

本町においても町をアピールし、交流人口を増やすまたとないチャンスだと思えますが、今後の町の活性化について町の計画や町長の考え方を伺います。

①世界基準に合わせた取り組みを先駆けて行えるのはコンパクトな町だから可能だと思いますが、駅前プロムナード、まちなか交流館、町にとって

の中心となる場所や新しくできる庁舎や学校エリアに無料のWi-Fi(ワイ・ファイ)を設置する予定はありますか。

②三陸道の拡張工事が進んでいきます。今後、復興関連の観光や交流人口の面でもインフラの違いで厳しい状況が予想されます。他とは違う女川の良さを強めていかなければ復興のトップランナーはいつしか取り残される、という事のないよう常に時代に合った新しいことに挑戦するべきでは。

町長 産業振興課長

①駅前商業エリアでWi-Fi環境を整備しているのは、フューチャー

センター、まちなか交流館、マザーポートコーヒの3カ所で、施設利用者限定となっています。今後、観光協会など公共性の強い団体と導入手法等を検討していきます。

また、まず一歩目として、観光の部分で既に基本的なインフラになりつつあるため、コスト、整備主体、ランニングコストの負担の在り方を吟味しつつ、範囲的なことも考慮しながら、限定的、試験的な形でスタートできればと考えます。

②将来に通じるような取り組みは、住民の皆さんにも参画いただき、一定の形は見せていますが、まちづくりに終わりはなく周辺環境、国際的な動向も含め、また、プレイヤリーについても世代等いろんな形で変化します。

5年後、10年後を想定した場合、どのような取り組みを今のうちからしておくべきなのか、常に意識し、今後も最善の努力をしながら、不断に考えていきます。



女川から世界基準へ



堀切西住宅のみなさん、快適ですか

### 住む人の視点でのまちづくりを

**Q** 2014年にはじめての災害公営住宅が運動公園住宅として完成しました。入居者に生活の実態や、不具合をヒヤリングされていますが、今現在、次々と出来る上がる災害公営住宅建設に、その教訓はどのように生かされていますか。

### 今後も住宅の改善に努めていきます

**A** 生活支援課長 災害公営住宅の整備においては、今後も入居者等の意見をできるだけ反映させ、利便性や住み良さを第一に考え、改善が必要と判断した場合には、次回の住宅整備にいかせるよう、その都度関係機関と協議し対応したいと考えています。

2014年にはじめての災害公営住宅が運動公園住宅として完成しました。入居者に生活の実態や、不具合をヒヤリングされていますが、今現在、次々と出来る上がる災害公営住宅建設に、その教訓はどのように生かされていますか。

# 第7回臨時会

11月30日開催された臨時会では、提案された議案について審議し、原案のとおり可決しました。主な内容は以下のとおりです。

## 一般議案

・議員報酬および費用弁償等の条例一部改正

12月期末手当の支給割合  
「100分の165」  
↓「100分の175」  
年間3・15月分から3・25月分に改正

・町長、副町長および教育長の給与、旅費の条例一部改正

議員報酬の改正に同じ  
・町職員給与の条例一部改正

給料表の水準平均0・2割引き上げ

勤勉手当は正職員12月期0・8月分→0・9月分。年間4・2月分から4・3月分に改正  
再任用職員12月期0・

375月分→0・425月分。年間2・2月分から2・25月分に改正  
※いずれも人事院勧告等に基づくもの。  
支給率は平成29年度以降、6月期、12月期に均等になるよう調整されます。

## 一般会計補正予算

歳入歳出予算にそれぞれ2億3579万9千円を追加して、総額428億4608万5千円となりました。

◇歳出の主なもの  
・人事院勧告に伴う給料

## 常任委員会活動

### 産業教育

### 小規模事業者等への応援策を

調査内容

中小企業・小規模企業の振興に関する取組みについて

調査期間

平成28年

7月22日、9月15日、  
10月24日、11月17日

調査概要と結果

本委員会は、担当課より本町の小規模事業者の



黙々と業務に励む町職員

および職員手当等の引き上げに伴う措置  
・女川牡鹿線整備事業工事施工等業務委託料  
3250万円  
（飯子浜道路改良工事）  
・漁業集落防災機能強化事業業務委託料  
1億8727万3千円  
（小屋取地区宅地造成に伴う仮設工事等）

現状や課題等の報告を受け、女川の事情に詳しい商工会副参事青山貴弘氏を含め、基本的な条例制定に向けての検討を行い、各委員からの意見を集約した。

復興計画8年間の中で、28年度末の時点では、住宅および住宅地の供給は782戸（自立再建298区画、災害公営住宅484戸）で全体の64%である。供給完了まで、残り2年4カ月を要することから、基本的な計画は、住宅、商店街の復興状況に応じ、段階的に策定しなければならない。

本町の企業数（平成27年2月現在）413事業所のうち、小規模企業298事業所（72・2割）中小企業113事業所（27・4割）大企業2事業所（0・5割）となっている。

これらの調査を踏まえ、各委員から以下のような意見が出され、町当局に要望した。  
・簡便かつ分かりやすい表現を使い女川らしさを出すこと。

・小規模事業者に光をあてた条例制定にすべき。

・大震災の発生により、厳しい経営環境に直面し、経営資源の確保がより困難である「小規模企業者」等の事業の持続的発展と本町住民生活の向上を図るものにする。

・責任の明確化や行政の指導（支援）も要する。  
・事業者の自助努力なくして、小規模事業者の底上げは考えられない。  
・基本計画の策定にあたり、商工会や経済団体が関与する仕組みを条例の中に入れる。

・購買力向上には町民の理解と協力が必要である。  
・人材不足の手立て、後

継者不足の問題も重要施策である。

・中小企業および小規模企業への支援策として、融資あつせん制度や商工会補助金、後継者産業者成補助金等を実施し、商工会・町内事業者支援を引き続き実施し、事業の持続的発展のための施策、支援を展開する。

以上が主な意見である。県内町村で初めての小規模事業者に添った条例となるが、今回の条例制定の基本的理念は経済団体および商工会や小規模事業者の意見を多く取り入れ、多くの事業者の一助となることが考えられる。



小規模事業者が集う商店街

# 原発対策特別委員会

## 第10回全国原子力発電所立地議会サミット

平成28年11月10日(木) 11日(金) 2日間にわたり、東京都品川区で、第10回全国原子力発電所立地議会サミットが開催された。

今回は、女川町議会が主催者側となり、議長が実行委員長を務めた。

「日本におけるこれからの原子力政策のあり方」原子力発電所を将来世代にどう引き継ぐ」をテーマに、全国の原子力発電所立地市町村議員による意見交換会がおこなわれた。

開会式終了後、NPO法人国際環境経済研究所理事・主任研究員で、筑波大学客員教授の竹内純子氏から基調講演があった。



第3分科会の様子

### 各分科会の内容

講演後、第1分科会から第5分科会にわかれ、意見交換。

#### 第1分科会

「福島原発事故のあたえた自治体への影響と再生に向けての課題」

事故収束への取り組み、復興状態、生活再建について

#### 第2分科会

「原発の再稼働と原子力防災体制の確立、安全対策の諸課題」

安全対策、自治体連携、放射能教育などについて

#### 第3分科会

「今後の原子力政策の方向性と次世代エネルギー政策の課題」

日本エネルギーの現状と原子力技術について

#### 第4分科会

「核燃料サイクルと放射性廃棄物の中間貯蔵・最終処分」

使用済み核燃料、プルサーマル、廃棄物の中間処理や、最終処分について

#### 第5分科会

「原子力発電所の廃炉計画と立地自治体の地域振興」

廃炉にともなう税制度やあらたな交付金見直しなど、地域経済への影響について



400人超の立地市町村議員が参加

2日目は全体会が開催され、各分科会からの報告があり、復興庁原子力災害復興班参事官補佐の大神広記氏及び、資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力立地・核燃料サイクル産業課長の覚道崇文氏より総評をいただいた。

また、今回の原子力事故により、絶対に安全とは言えなくなった今、まずはその安全性の確保が何よりも重要であり、国におかれては、その責任において安全性の確保に

着実に取り組むよう強く求める。また、高経年化対策や使用済核燃料の中間貯蔵、高レベル放射性廃棄物の処理・処分、核燃料サイクルなどをはじめとした諸課題についても、しっかりとしたビジョンを国民に示していただきたい。

サミット宣言は全会一致で可決された。

### 規制庁からのコメント

原子力規制委員会では、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、国際原子力機関や諸外国の規制基準を確認しながら世界でも最も厳しい水準の基準となるよう新規制基準策定に取り組んだところで、福島原発事故を踏まえれば、新規制基準に適合したとしても絶対安全であるということの意味するものではないと考えている。

安全の追求には終わりが無く、継続的な安全向上が重要であり新規制基準についても不断に見直していく。

# 独特な町おこし事業に学ぶ

## 神山町、上勝町

### —とにかく始めよ—

#### 復興まちづくり特別委員会

##### 調査内容

徳島県神山町及び上勝町の視察について

##### 調査期間

平成28年9月27日～29日、10月11日

##### 調査概要と結果

#### 社会動態人口が増加 移住者は105人

神山町は人口約5200人の過疎の町。平成16年にNPO法人グリーンバレー（理事長大南信也氏）は、IT企業等のサテライトオフィスや起業者の誘致、後継者育成のための神山塾等を開催し、町の活性化を図ってきた。

その間に山間部の情報格差、難視聴対策でケーブルテレビ兼用の光ファイバー網を整備したことも、IT企業の誘致にプラスに作用した。

移住支援事業は、グリーンバレーが職種を決めて空き家改修し、移住者に貸出する独自の方法をとっている。移住者は現在まで58世帯105人で、町史上初めて町の社会動態人口が増加に転じ、全国の自治体から注目を集めている。神山町は過疎を受け入れながら、外部から人材を誘致し人口構成の健全化をはかるとい

う「創造的過疎」を掲げている。今年4月に創生戦略「神山プロジェクト」を立ち上げた。大南理事長の「できない理由より、できる方法を」「とにかく始めろ」の考え方は、大いに参考になる。



神山町「できない理由より、できる方法を」

#### 葉っぱで町おこし

上勝町は人口約1600人、高齢化率52%で四国で最も人口が少ない町。昭和61年当時農協職員だった横石知二氏（現株主）が、葉っぱビジネス「彩」を4軒の生産者でスタートした。現在では、生産者200人で販売額



上勝町 全国から若者が集まる町の魅力は

2億6000万円までに。年間1000万円売上げる人もいて、全国的に話題となっている。

#### 若者移住30人以上

「インターンシップ事業」は6年間で600人以上の若者が集まり、30人以上が町内に移住、就業している。

また、ゴミを排出しない社会を目指す「ゼロ・ウェイスト宣言」という究極の理念は傾聴に値する。

両町とも活性化の成果は一人の傑出したリーダーの主導による面が大きいと考えるが、その中で議会の果たす役割が見え

てこないのは残念であった。また、若者の定住は重要だが、移住者と地域住民との交流が大切であると認識した。

本町も少子高齢化が進む中で、若者の定住は未来の地域づくりの必須条件である。本町ではNPO法人アスヘノキボウが「お試し移住」等で定住促進を図っており、町づくりに大きな役割を担っているが、住民に十分理解されているとは言い難い。公と民の連携によってこそ、真の活性化が図られるものであり、「とにかく始めろ」の精神が新たな地域づくりには必要であると考ええる。



「WEEK Kamiyama」  
古民家を改造した宿

キラキラ・いきいき  
**女川コーラス・ソレイユ**



先生を囲んでの新年会(1月12日)



ちょっぴり緊張しながら…(町民文化祭)

**元気のもととみんなと  
 声を合わせて歌うこと**

毎月第2・第4木曜日まちなか交流館多目的室での例会は、女川讃歌を歌うことから始まります。

創立から30年、会員は現在15人。女川を離れた方も仙台や石巻から参加して、新田先生、永沼先生のご指導を受けています。教わったことも次の時には忘れていたりで大変ですが、私たちの元気のもととみんなと声を合わせて歌うこと、笑い合うこと、おしゃべりすること。そしてステージでの緊張感も大切なこと。



新年会での歌い初め!“女川讃歌”

毎年町民文化祭・市民合唱祭などに参加し、また群馬県玉村町など、大勢の支援の方々との繋がり、一緒に歌い励まされてきました。震災で亡くなった3人の仲間を思いながら、これからも女川の歌を大切に歌い続けていきたいです。ぜひ、ご一緒に歌ってみませんか。



※ソレイユ  
 フランス語でひまわり

● **あとがき** ●

震災後、6回目のお正月を迎えました。

今年は元旦から七日まで穏やかな天候にめぐまれました。今春は女川駅北、ずい道、清水ひわらび、西区、鷲神、宮ヶ崎地区等、順次完成します。

新たな町民コミュニケーションづくりに協力しましょう。

広報正副委員長をはじめ委員一同、見やすい、心に残る「議会だより」をお届けします。皆さんからのたくさんのご意見を、お待ちしております。

編集委員 阿部 薫

- |      |         |
|------|---------|
| 議長   | 長 木村 公雄 |
| 委員長  | 阿 部 美紀子 |
| 副委員長 | 阿 部 律子  |
| 委員   | 伊 藤 恵 悟 |
| 委員   | 宮 元 潔   |
| 委員   | 阿 部 薫   |
| 委員   | 高 野 博   |